



株式会社コシダカホールディングス

2011年8月期 決算説明会

JASDAQ
証券コード：2157



I 2011年8月期業績

- ・グループ業績概況
- ・カラオケ事業
- ・カーブス事業
- ・ボウリング・不動産管理・その他事業

II 2012年8月期の見通し／今後の展望

- ・2012年8月期 業績見通し・今後の取り組み
- ・今後の展望
- ・株主還元

III 参考資料

I . 2011年8月期業績



連結業績

■売上高： 290億93百万円 前期比132.6%

■営業利益： 33億56百万円 前期比134.0%

■当期純利益： 28億77百万円 前期比255.7%

カラオケ事業

■売上高： 173億89百万円 前期比105.4%

■セグメント利益： 22億43百万円 前期比113.6%

カーブス事業

■売上高： 84億31百万円 前期比155.1%

■セグメント利益： 12億 9百万円 前期比228.5%

ボウリング・ 不動産管理・ その他事業

■売上高： 32億72百万円

■セグメント利益： 97百万円



I - 2 連結損益計算書

単位：百万円

	11/08月期	10/08月期	前期比
売上高	29,093	21,932	132.6%
売上総利益	7,843	6,246	125.6%
営業利益	3,356	2,503	134.0%
経常利益	3,336	2,579	129.4%
当期純利益	2,877	1,125	255.7%
1株当たり当期純利益 (円)	119,896.45	46,887.82	255.7%
自己資本比率 (%)	34.2%	30.8%	—

カラオケ事業 期末店舗数	315店舗	309店舗	+6店舗
カーブス事業 期末店舗数	1,038店舗 (直営39店舗)	864店舗 (直営14店舗)	+174店舗 (直営+25店舗)
ボウリング事業 期末店舗数	15店舗	—	+15店舗
その他事業 期末店舗数	1店舗	—	+1店舗

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入



I-3 主な販売管理費、特別損失の内訳

単位：百万円

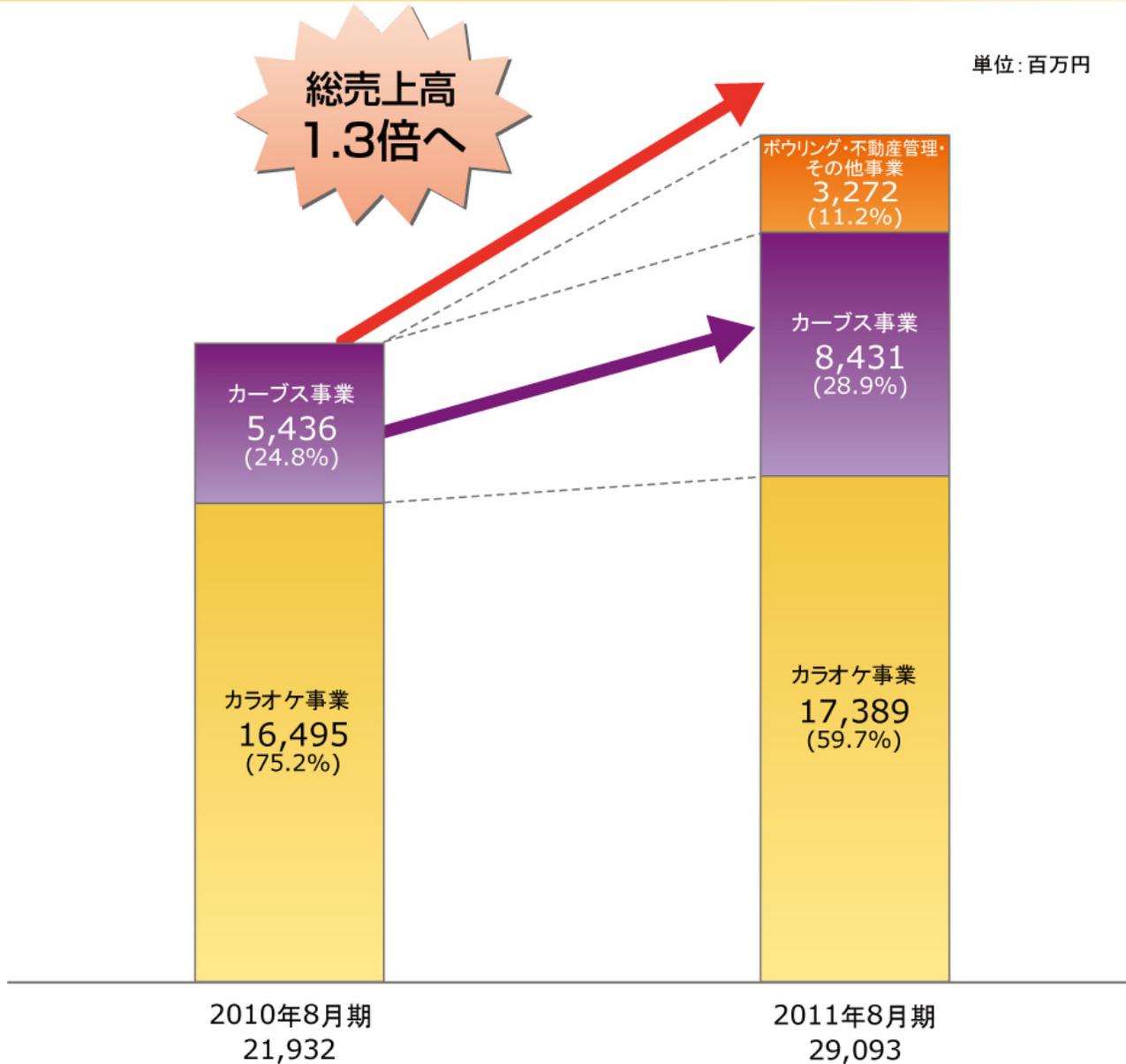
		11/08月期	10/08月期
販売管理費		4,486	3,742
従業員給与		1,386	1,184
のれん償却費		307	301
開店諸費用		141	141
広告宣伝費		244	195
減価償却費		173	150
賞与引当金繰入額		91	76

		11/08月期	10/08月期
特別損失		375	117
減損損失		155	21
リニューアルに伴う固定資産除却損		108	96
資産除去債務会計基準適用に伴う影響額		60	—

※百万円未満切捨て



I-4 セグメント別推移





I-5 連結貸借対照表

単位：百万円

		11/08 (連結)	10/08 (連結)	増減額
資産の部	流動資産	6,910	5,156	1,754
	現金及び預金	4,319	3,607	712
	固定資産	11,544	6,818	4,726
資産合計		18,454	11,975	6,479
負債の部	流動負債	7,120	5,179	1,941
	1年以内返済予定の 長期借入金	1,377	1,250	127
	固定負債	4,870	3,044	1,826
	長期借入金	1,858	2,957	△1,099
	社債	2,040	-	2,040
負債合計		11,990	8,223	3,767
純資産の部	株主資本	6,308	3,689	2,619
	資本金	493	493	0
	資本剰余金	483	483	0
	利益剰余金	5,331	2,712	2,619
	評価・換算差額等	△2	△2	0
	少数株主持分	158	64	94
純資産合計		6,464	3,751	2,713
負債・純資産合計		18,454	11,975	6,479

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,319百万円
受取手形及び売掛金	869百万円
商品	316百万円
固定資産	
有形固定資産	8,765百万円
無形固定資産	859百万円
投資その他資産	1,919百万円
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	621百万円
未払法人税等	1,341百万円
預り金	1,103百万円
固定負債	
長期借入金	1,858百万円
リース債務	53百万円
純資産の部	
資本金	493百万円
資本剰余金	483百万円
利益剰余金	5,331百万円

※百万円未満切捨て



I-6 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	11/08 (連結)	10/08 (連結)	主な内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	4,411	3,447	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前当期純利益 4,157百万円 ・減価償却費 1,949百万円 ・負ののれん発生益 Δ1,193百万円 ・法人税等支払額 Δ1,478百万円 	
投資活動による キャッシュ・フロー	Δ1,822	Δ2,396	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得による支出 Δ2,197百万円 	
財務活動による キャッシュ・フロー	Δ1,520	Δ337	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の減少 Δ2,566百万円 ・長期借入れによる収入 1,300百万円 ・長期借入金の返済による支出 Δ2,172百万円 ・社債の発行による収入 2,335百万円 	
現金及び現金同等物の増加額	Δ4	Δ5	-	
現金及び現金同等物の期首残高	3,036	2,327	-	
現金及び現金同等物の期末残高	4,100	3,036	-	

※百万円未満切捨て

カラオケ事業



I - 7 カラオケ事業総括

単位：百万円

	11/08月期		10/08月期		前期比 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
売上高	17,389	100.0	16,495	100.0	105.4
売上原価	13,778	79.2	12,719	77.1	108.3
売上総利益	3,610	20.8	3,776	22.9	95.6
販売管理費	1,366	7.9	1,802	10.9	75.8
セグメント利益	2,243	12.9	1,974	12.0	113.6

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

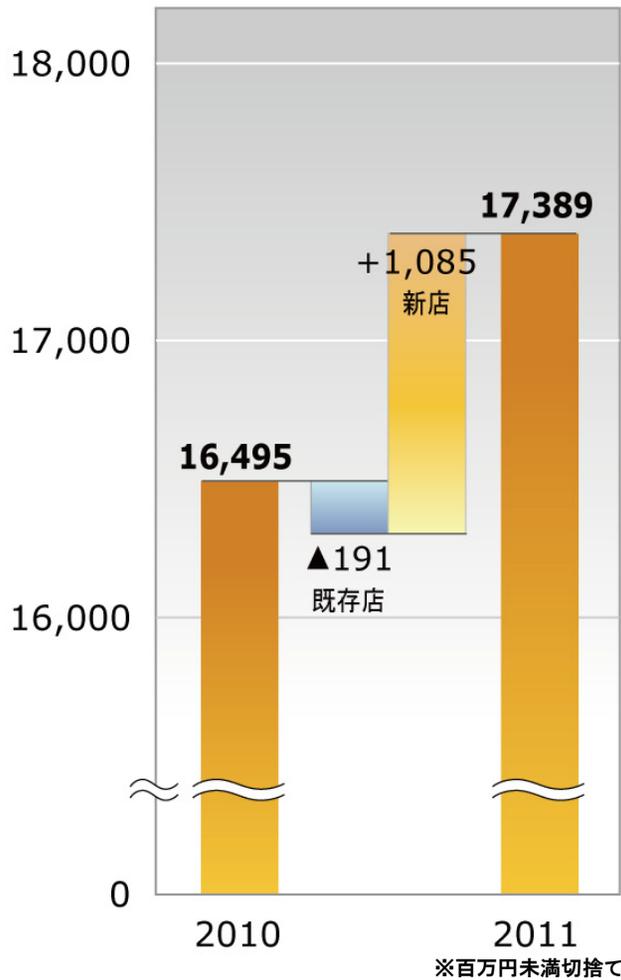
- ・ 39店舗の大規模リニューアルの継続と、人材育成施策を見直し、店舗営業力の強化を図ったことにより、既存店舗の売上は底堅く推移。
- ・ 15店舗の新規出店を実施。
- ・ 昨年、韓国に設立した株式会社韓国コシダカは、6月に江南店をソウル市内に開設。



I-8 前年同期比・要因分析

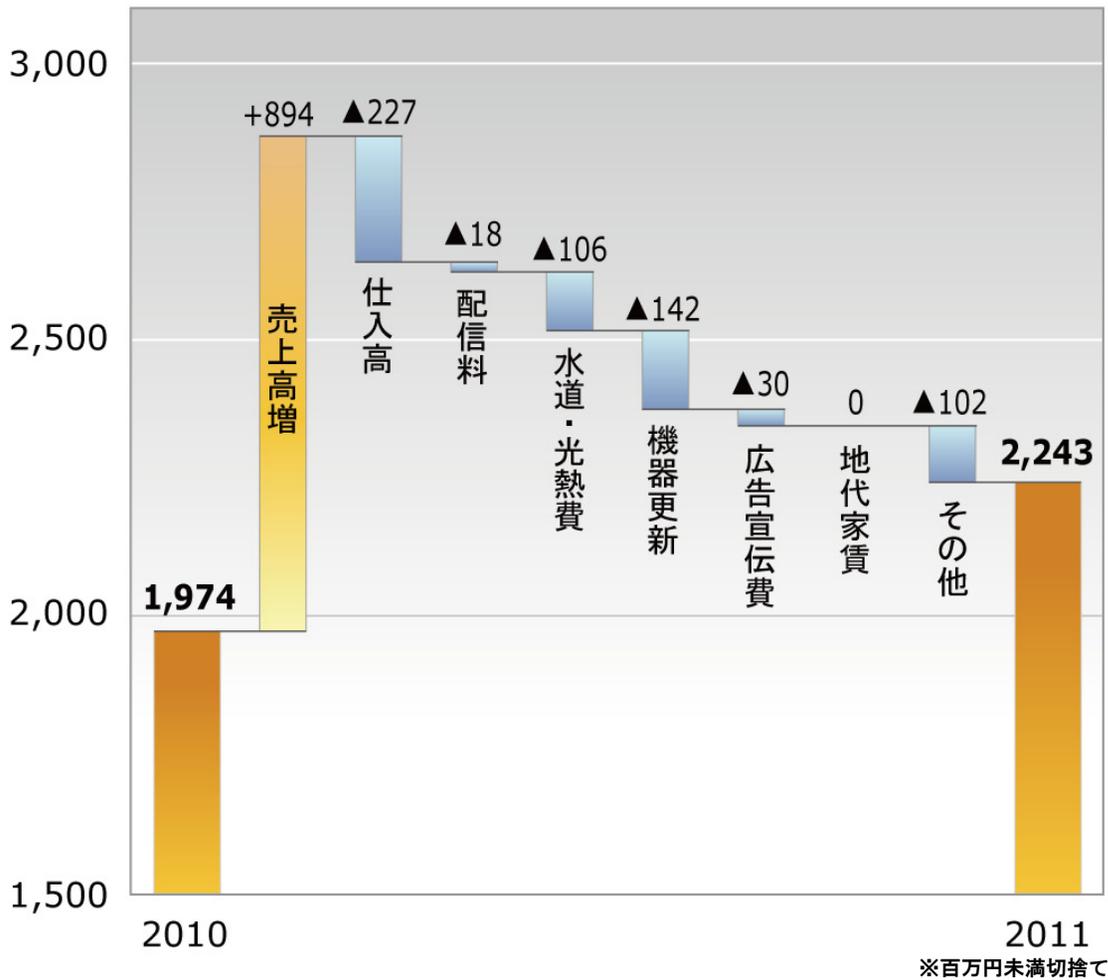
売上高 増減要因

単位：百万円



営業利益 増減要因

単位：百万円



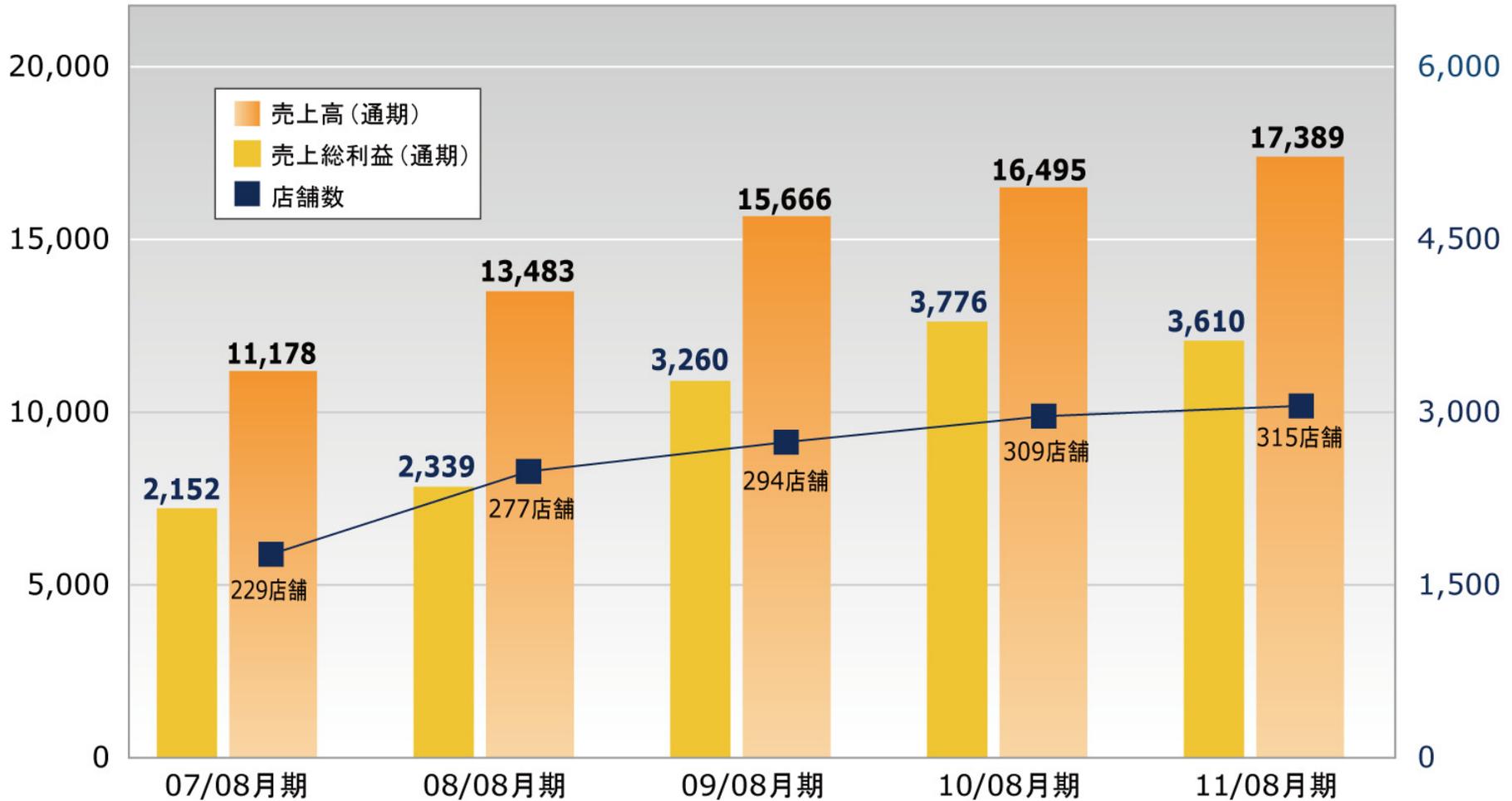


I-9 カラオケ事業 業績ハイライト

売上高/売上総利益/店舗数 推移

単位：百万円
(売上高)

単位：百万円
(売上総利益)



※百万円未満切捨て



I - 10 既存店動向

	既存店			全店		
	11/08月期	10/08月期	前期比 (%)	11/08月期	10/08月期	前期比 (%)
売上高(百万円)	16,259	16,450	98.8%	17,389	16,495	105.4%
客数(千人)	13,742	13,897	98.9%	14,691	13,939	105.4%
客単価(円)	1,183	1,184	99.9%	1,184	1,183	100.1%

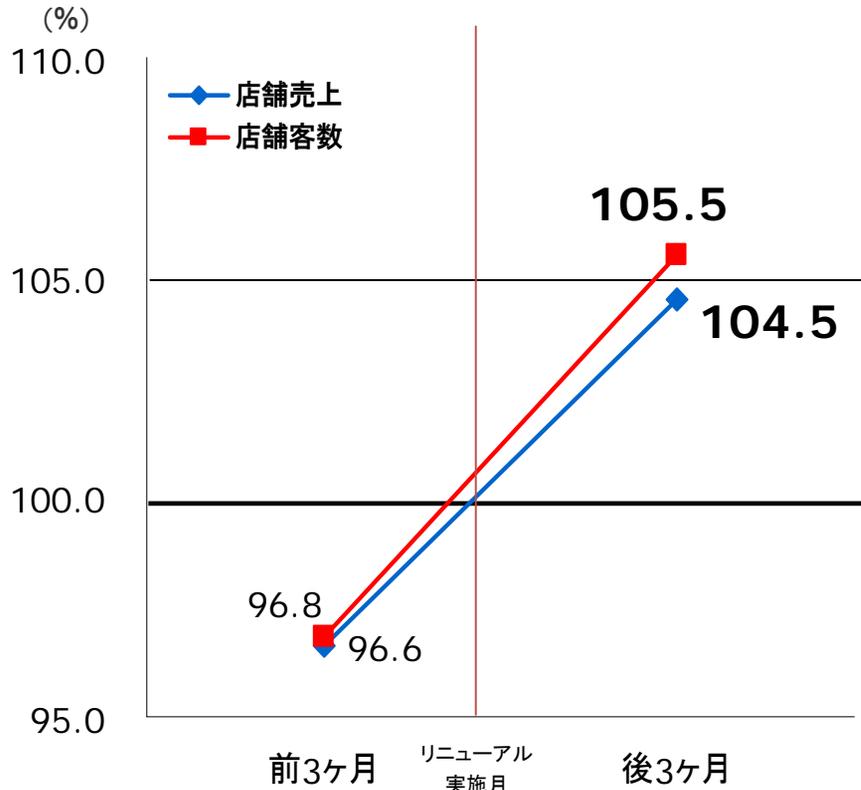
※表示単位未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入



I-11 出店・リニューアル状況

リニューアル前後比較

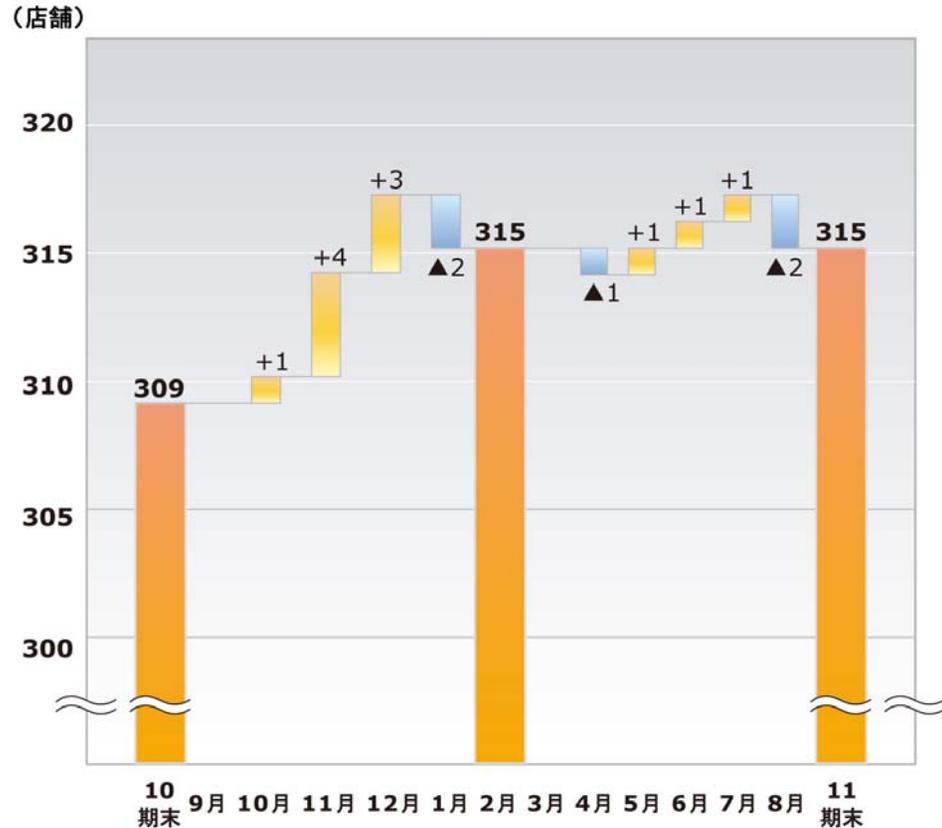
前期リニューアル実施店舗39店舗の
売上高・客数の前年同期比推移



リニューアルにより、
 ・店舗売上は前年同期比 +7.9ポイント増加
 ・店舗客数は前年同期比 +8.7ポイント増加

※小数点第2位で四捨五入

店舗数推移



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
新店舗		1	4	3			1	1	1	1	1	2	15
退店					▲2		▲1	▲2				▲4	▲9
合計		1	4	3	▲2		0	▲1	1	1	1	▲2	6

- ・ 建築出店2店舗、居抜出店13店舗、計15店舗の新店オープン
- ・ 9店舗の閉店を実行



한국코시다카

「カラオケ本舗まねきねこ」

韓国1号店オープン



カラオケ本舗まねきねこ 江南店

当社グループ初の海外カラオケ店を
韓国ソウル市にオープン。

【昭和歌謡コシダカシアター】

新業態への挑戦

アクティブシニア向けエンターテイメント

昭和歌謡

コシダカ
シアター

KOSHIDAKA-THEATER



- ・「下町唱酒場 浅草まねきねこ 本店」が7月7日（木）にシアターレストラン「昭和歌謡 コシダカシアター」に業態変更し、グランドオープン。
- ・株式会社アミューズの子会社とのコラボレーションにより、上質なエンターテイメントを継続的に上演。
- ・＜浅草レビュー劇団 虎姫一座＞の歌・ダンス・パントマイムの共演による躍動感あふれるショーと食事を楽しめる本格的なシアターレストラン。
- ・大小10ルームのカラオケBOXも施設内に併設し、運営。

カーブス事業



I - 13 カーブス事業総括

単位：百万円

売上高	11/08月期		10/08月期		前期比 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
売上高	8,431	100.0	5,436	100.0	155.1
売上原価	4,997	59.3	2,967	54.6	168.4
売上総利益	3,434	40.7	2,469	45.4	139.1
販売管理費	2,224	26.4	1,940	35.7	114.6
セグメント利益	1,209	14.3	529	9.7	228.5

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

- ・ 加盟店舗数は前期末以降174店舗増加し、1,038店舗へ。
- ・ 株式会社シュ克蘭の子会社化などから、直営店は前期末比25店舗増加して39店舗。
- ・ 会員数は前期末比77千人増の399千人。
- ・ セグメント利益は前期比約2.3倍。

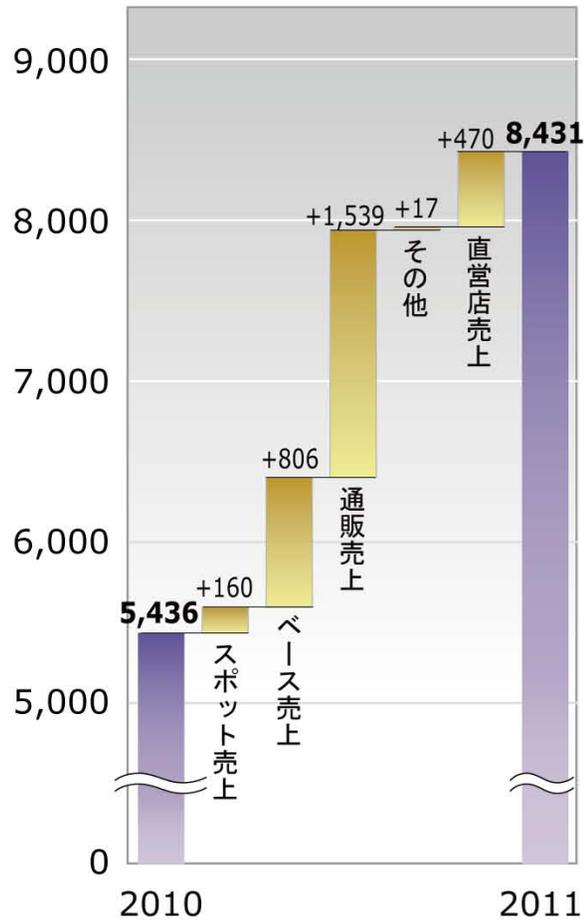


I - 14 前年同期比・要因分析

売上高 増減要因

(売上高)

単位：百万円



※百万円未満切捨て

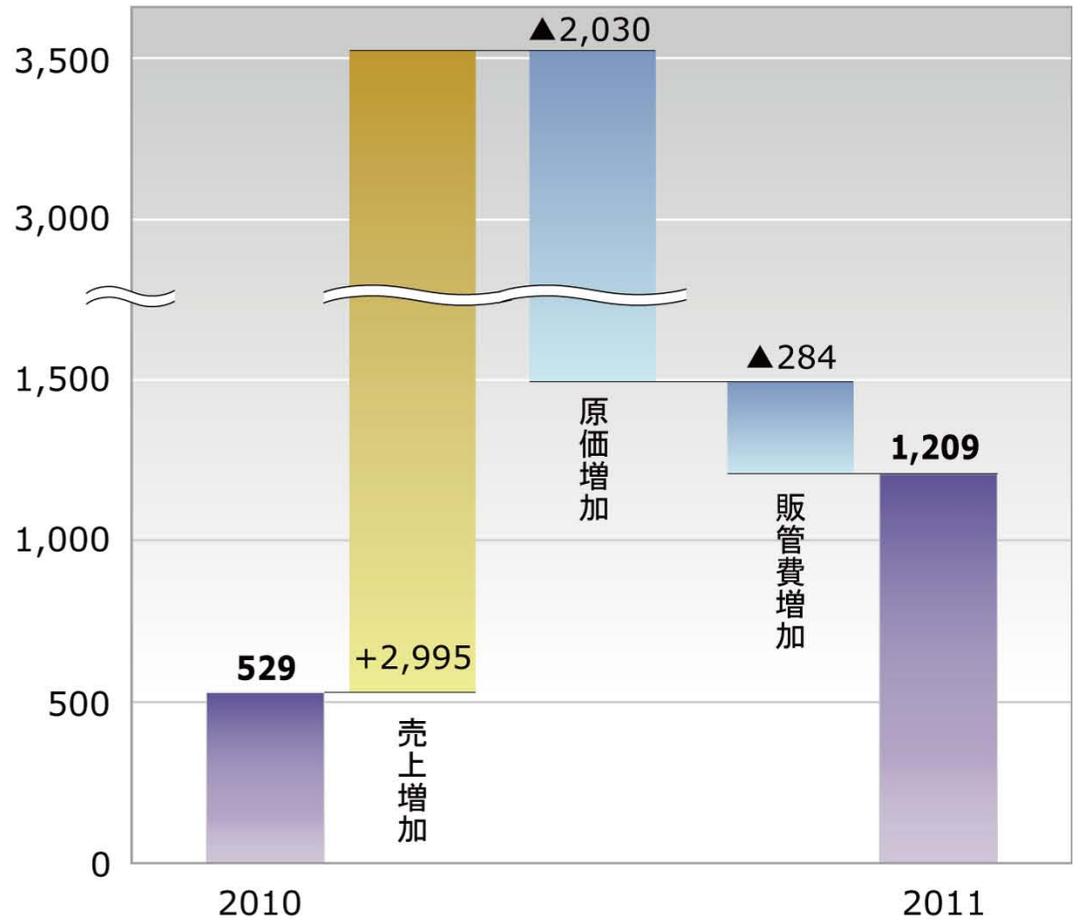
【注意】*スポット売上⇒加盟金収入など店舗出店に関わる一時的な収入

*ベース売上⇒ロイヤルティ収入など継続的な収入

営業利益 増減要因

(営業利益)

単位：百万円

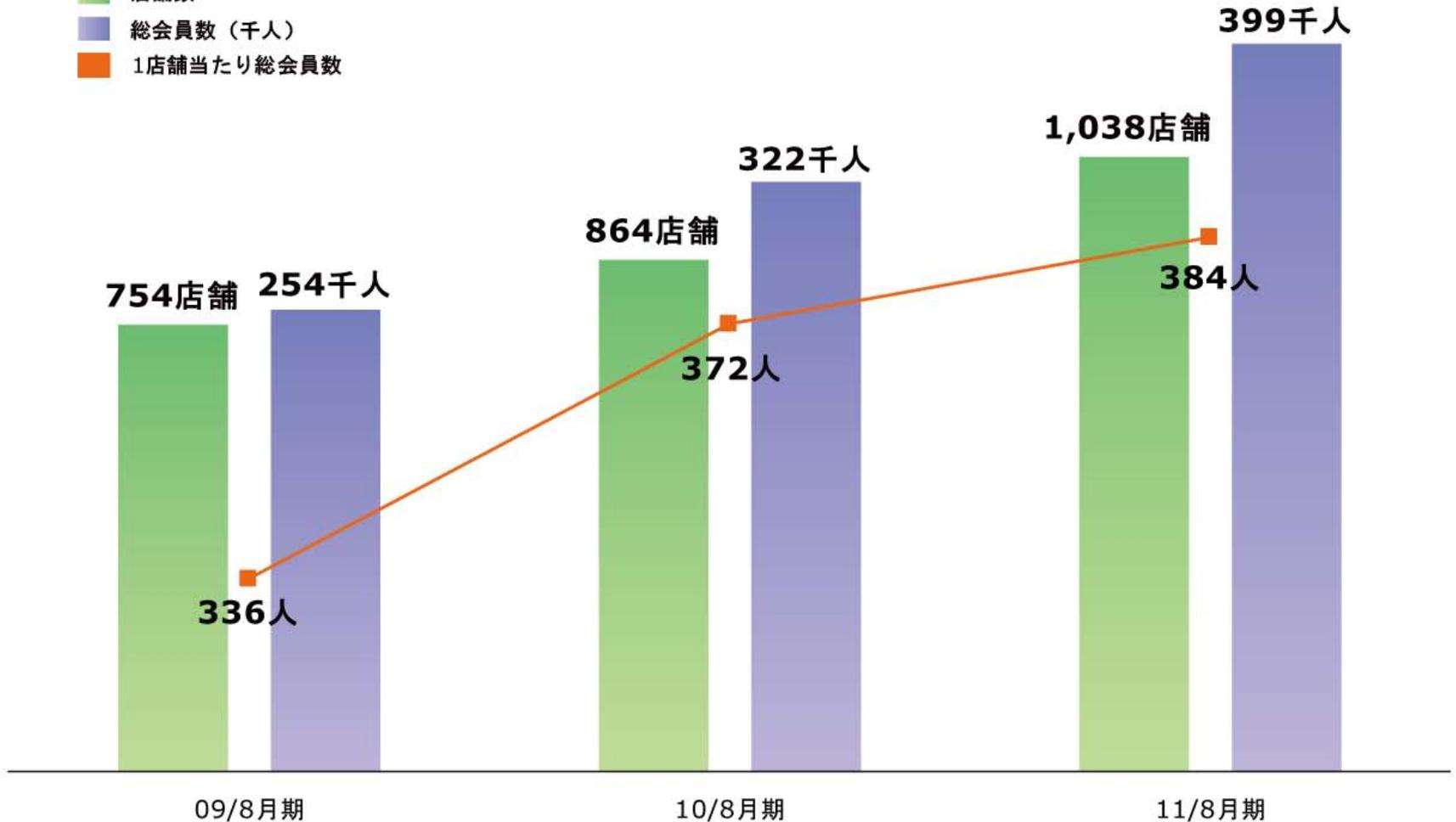


※百万円未満切捨て



店舗数/総会員数推移

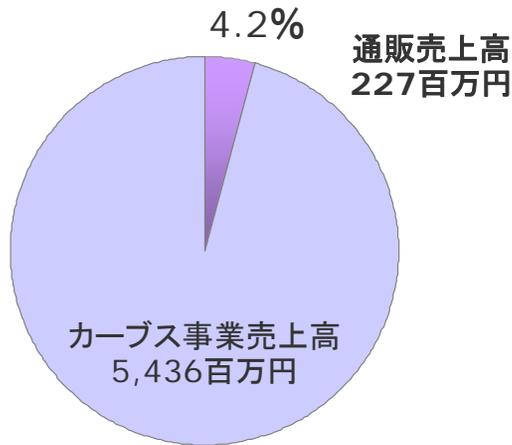
- 店舗数
- 総会員数 (千人)
- 1店舗当たり総会員数



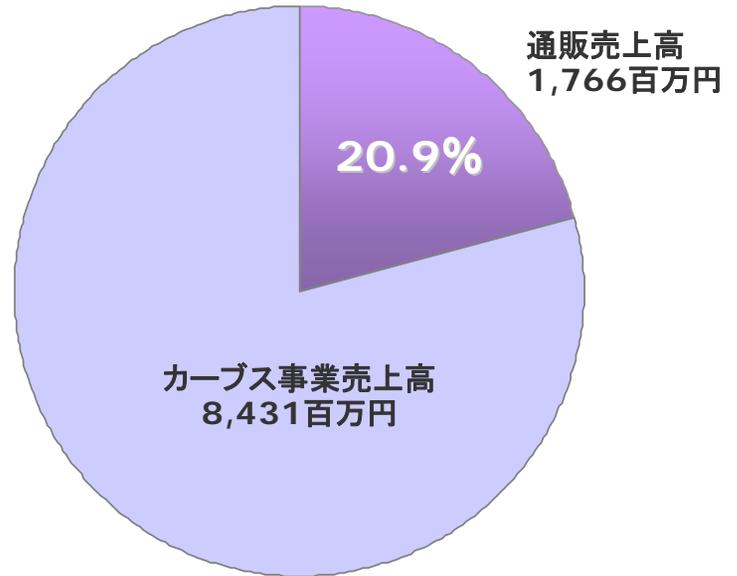
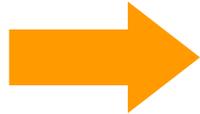
※百万円未満切捨て



I-16 トピックス(通信販売商品の拡充)



10/8月期
通販売上比率

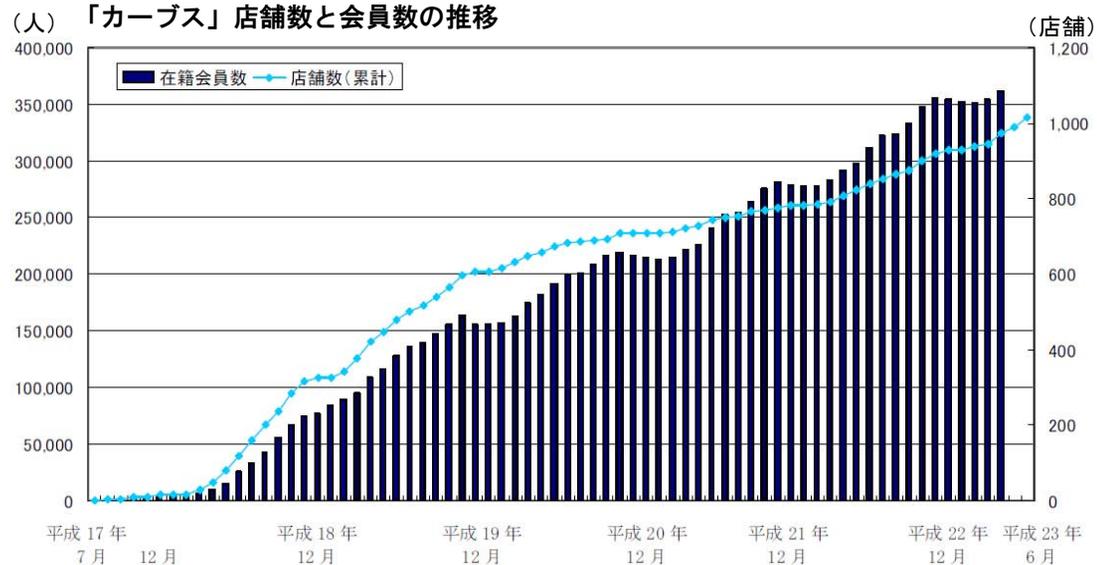


11/8月期
通販売上比率

※%は小数点第2位で四捨五入

- ・ 会員様向け通信販売商品の新たな取り組みとして、
プロテイン（たんぱく質の栄養補助食品）の販売をスタート
- ・ 通信販売商品の定期購入システム導入により、安定した
売上の維持が可能に。

• **1,000店舗突破**
 • **会員数40万人を達成!**



・ プロテインの拡販



・ インフォーマーシャルによる新たな広告手法の確立



ボウリング・不動産管理・その他事業



単位:百万円

売上高	11/08月期		10/08月期		前期比 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
売上高	3,272	100.0	-	-	-
売上原価	2,906	88.8	-	-	-
売上総利益	365	11.2	-	-	-
販売管理費	268	8.2	-	-	-
セグメント利益	97	3.0	-	-	-

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

【ボウリング事業】

- ・ 3センターをオープンし15センター体制へ。

【不動産管理事業】

- ・ 株式会社スポーツの連結子会社化に伴い、不動産管理事業を報告セグメントとして追加。

【その他事業】

- ・ 温浴施設「箕郷温泉まねきの湯」を「居抜き出店方式」により開設。

新規出店



スポーツ下田（青森県上北郡）

2010年10月28日オープン ※居抜き出店



スポーツ飯能ボウル（埼玉県飯能市）

2011年2月25日オープン ※居抜き出店



スポーツ北九州（福岡県遠賀郡）

2011年7月1日オープン ※新規建築出店

新たに 3センターをオープン



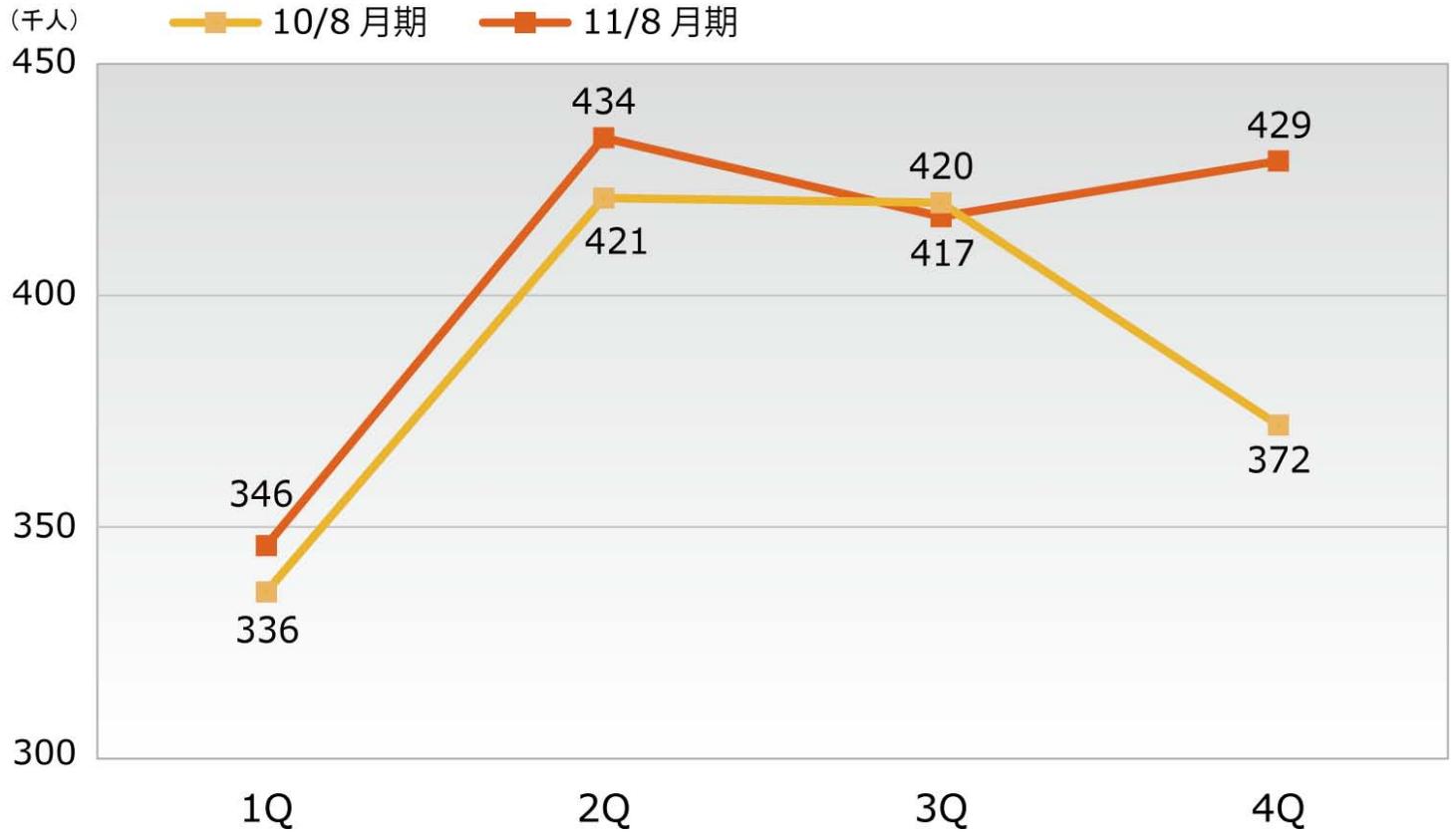
15センター体制に

今後、更に居抜き出店を促進し、
多店舗展開により経費の圧縮を図る。



I - 20 来店客数

来店客数の推移(直営ボウリング場全店)



※千人未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

- 第1、第2、第4四半期の来店客数は前年同期を上回る実績。
- 第3四半期は東日本大震災の影響もあり、前年同期を下回ったものの、第4四半期は「安近短」の需要を取り込み、大幅に回復。

Ⅱ. 2012年8月期の見通し／今後の展望



Ⅱ - 1 2012年8月期 グループ業績見通し

単位：百万円

	12/08月期（予）			11/08月期
	金額	構成比 （%）	前期比増減率 （%）	金額
売上高	31,714	100.0	+9.0	29,093
営業利益	3,919	12.4	+16.8	3,356
経常利益	3,996	12.6	+19.8	3,336
当期純利益	2,020	6.4	△29.8	2,877

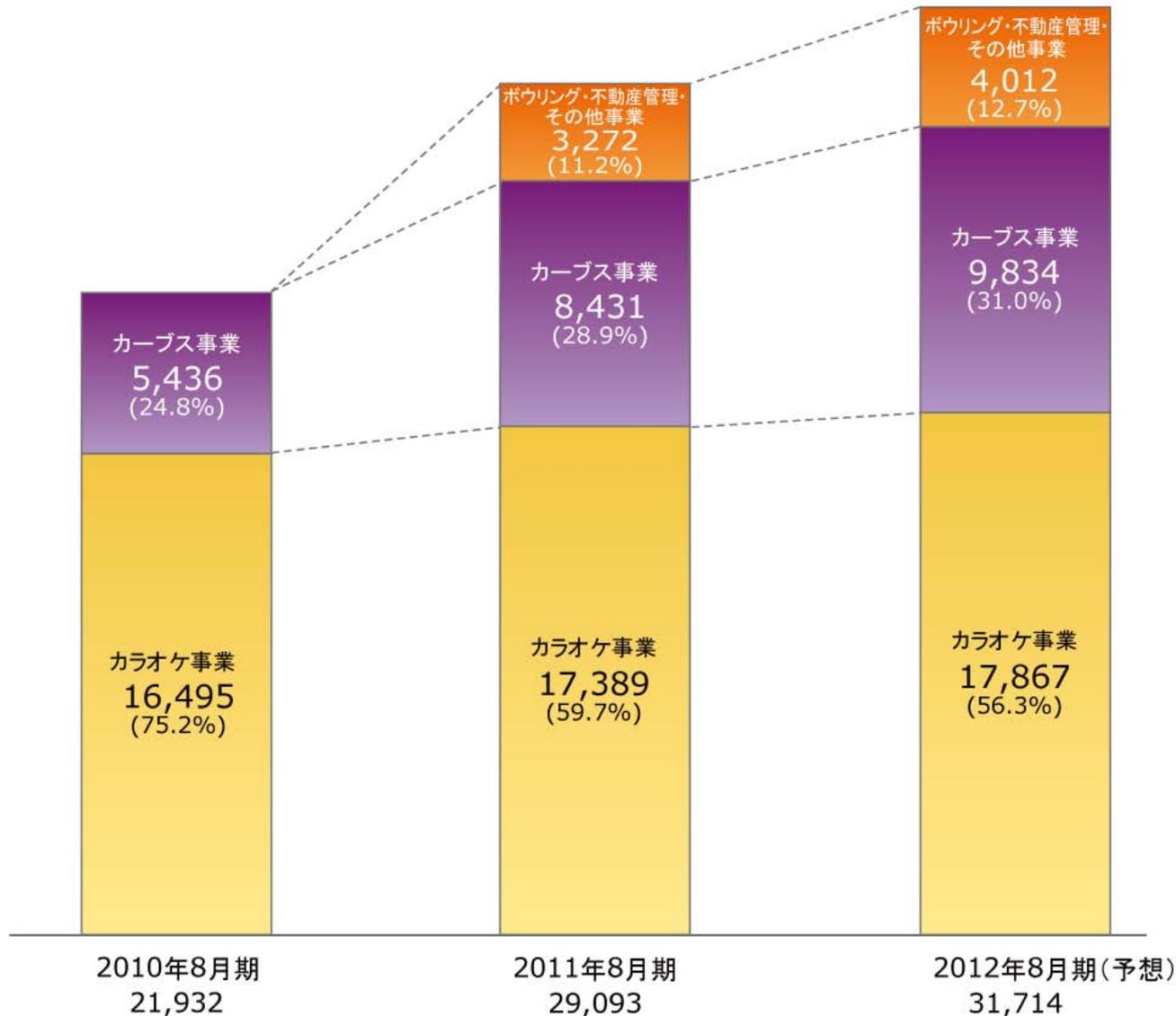
※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

- ・健康志向の高まりと増加するアクティブシニアの潜在需要を掘り起こし、大いなる成長に繋げる。
- ・引き続き個人消費の停滞が予想されるが、各事業において、より深く特化し競争力を高めると共に、事業間でのシナジーを追求する。
- ・当期純利益の減益見通しは、前期に特別利益として計上した、(株)スポーツの連結子会社化に伴う負ののれん発生益（11億93百万円）がなくなるため。



Ⅱ-2 2012年8月期 セグメント別業績見通し

単位: 百万円



カラオケ事業



Ⅱ-3 カラオケ事業 業績見通し

単位：百万円

	12/08月期（予）			11/08月期
	金額	構成比（%）	前期比増減率（%）	金額
売上高	17,867	100.0	+2.7	17,389
セグメント利益	2,486	13.9	+10.8	2,243

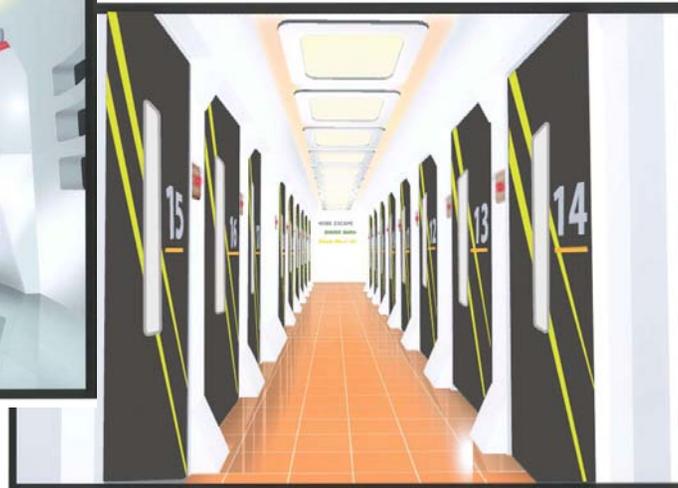
※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

- ・ 既存店舗の大規模リニューアルを45～50店舗で実施予定。
- ・ 居抜き出店と建築出店により、新規出店は15店舗を予定。
- ・ 「昭和歌謡 コシダカシアター」に続く新業態店舗を模索。

一人カラオケ専門店「ワンカラ」を11月下旬にオープン予定



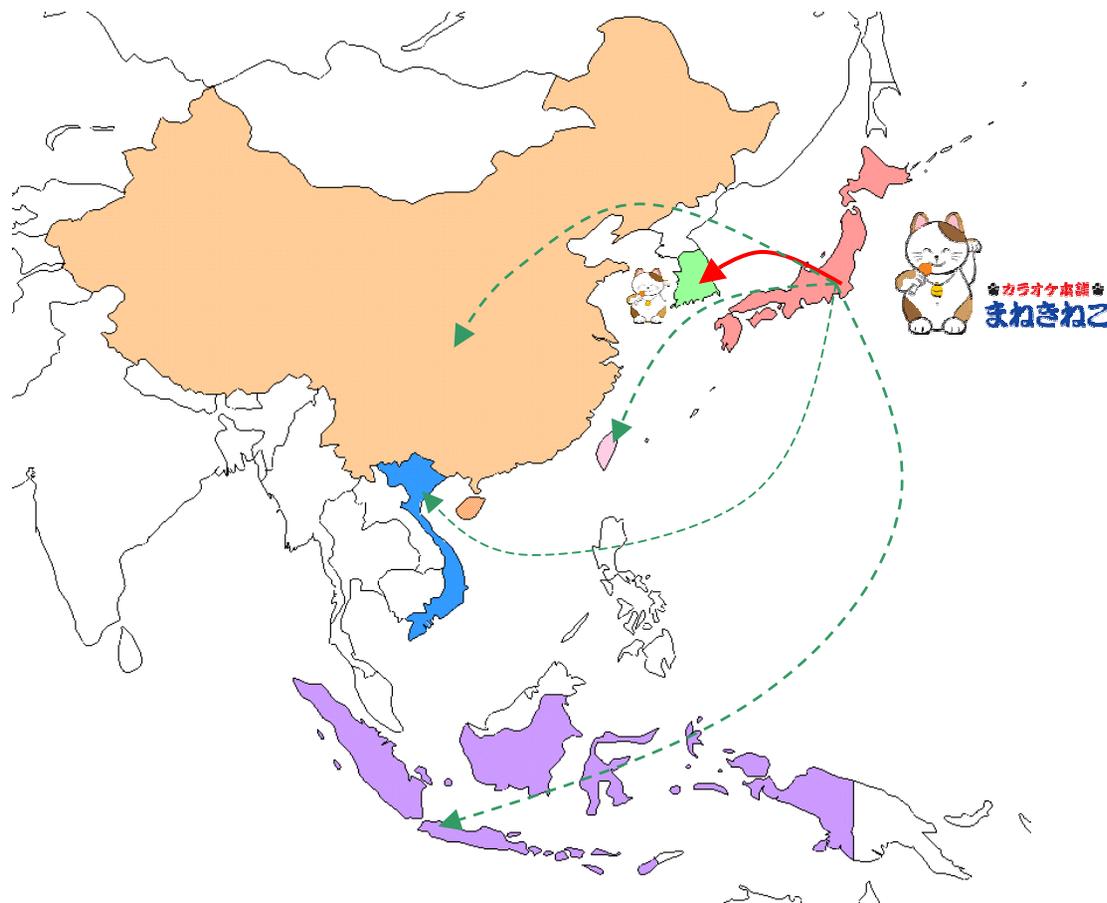
- ・一人でカラオケBOXを利用するニーズが増加。
- ・一人での利用に適した規模の個室を用意し、「おひとりさま」に対する運営効率が通常店舗よりも高い店舗形態に。
- ・都市型の業態として、都心部への展開に向けた戦略の一つ。



顧客の年齢層や地域性を意識し、ニーズと運営ターゲットの合致する新業態を今後も展開。

韓国から東アジアの展開

- ・韓国での店舗運営でノウハウを蓄積し、最適な形態を模索中。
- ・長期的には、台湾、中国、ベトナム、インドネシアなど東アジア～東南アジアへの展開も視野に。
- ・各国での店舗形態や運営体制の検討のため、まずは市場調査を開始。



カーブス事業



Ⅱ-6 カーブス事業 業績見通し

単位：百万円

	12/08月期（予）			11/08月期
	金額	構成比（%）	前期比増減率（%）	金額
売上高	9,834	100.0	+16.6	8,431
セグメント利益	1,425	14.5	+17.8	1,209

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

- ・引き続き新規出店を強力に推進（目標：120店舗）。

【収益源の多様化】

- ・ 会員向け通信販売商品の開発。
- ・ 新たな収益源の開発に向けた研究を推進。
- ・ 他事業と連携した会員ビジネスなど、シナジーを活かした展開を模索。

【加盟店の支援強化】

- ・ 新規出店時の早期会員獲得プログラムと既存店会員増強プログラムの革新と普及。
- ・ 会員向け通信販売商品の開発と販促支援。
- ・ 直営出店展開を通じて獲得蓄積される各種ノウハウをFC本部と加盟店で相互交流。

【エビデンスの強化】

「カーブス東北大学加齢研スマートエイジングスクエア」をオープン。

⇒カーブスのプログラムが健康に与える影響を検証し、得られたデータを今後の営業に活用。



ボウリング・不動産管理・その他事業



Ⅱ－８ ボウリング・不動産管理・その他事業 業績見通し

単位：百万円

	12/08月期（予）			11/08月期
	金額	構成比 （%）	前期比増減率 （%）	金額
売上高	4,012	100.0	+22.6	3,272
セグメント利益	67	1.7	-30.9	97

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

【ボウリング事業】

- ・複数店舗を新規出店予定。
- ・新規出店の初期投資により、黒字化は13/8月期以降に持ち越す見通し。

【不動産管理事業】

- ・ボウリング場への不動産賃貸を中心に不動産管理業務を推進。

【その他事業】

- ・温浴事業の多店舗展開の開始。



【ボウリング事業】

- ・ 顧客の獲得

アクティブシニア層の裾野拡大に向け、
LTB（Learn To Bowl）を継続。

LTB：社員の半数以上がプロ及びインストラクターの
資格を持つスポーツの強みを活かした
健康ボウリング教室。

長期的に45店舗を目標に展開。

- ・ 経費の圧縮

多店舗展開により人件費等の経費率を下げる。
業務フローを見直し、効率的な事業運営に努める。

【その他事業】

温浴事業の多店舗展開の開始。

今後の展望



グループ売上高 1,000億円へ

1,000億円へ

第5の事業

温浴

ボウリング

カーブス

カラオケ

海外進出

各事業の深掘り

M&A

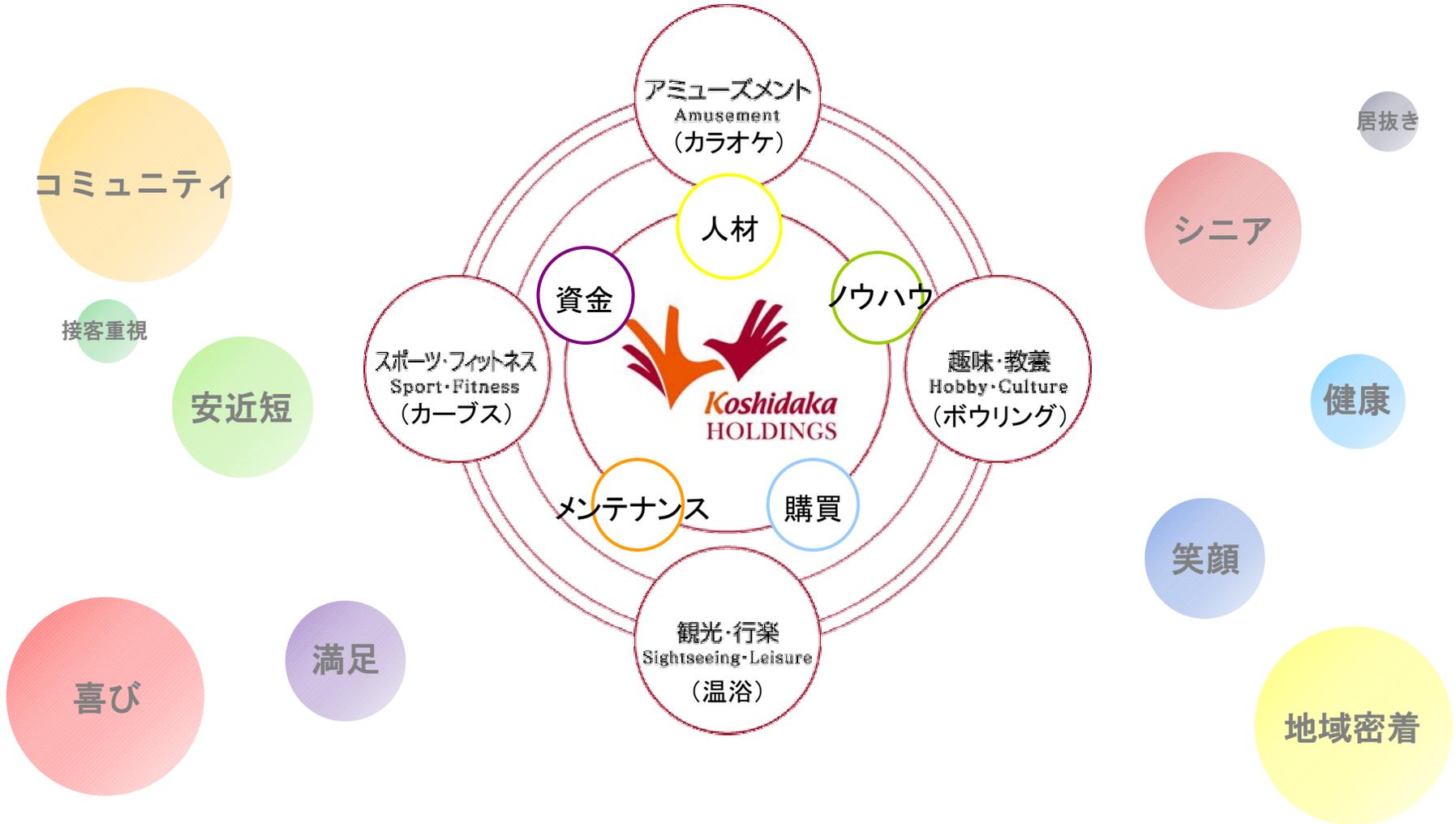
シナジー

2011年8月期売上高
290億93百万円



Ⅱ - 11 グループビジョン(成長イメージ)

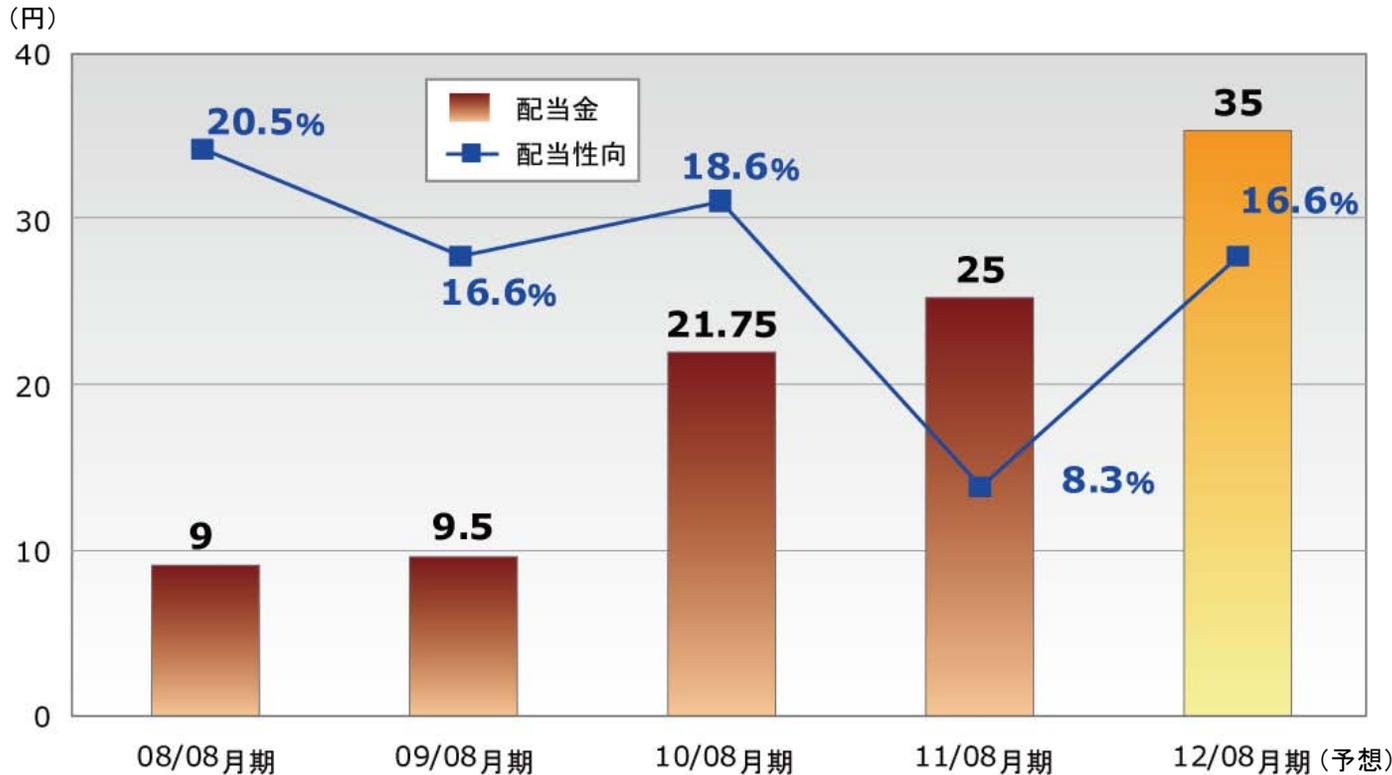
総合余暇サービス提供企業として、グループシナジーを發揮



株主還元



Ⅱ-12 配当政策



グラフ内の2011年8月期以前の配当金は、当時の配当金総額に対し現在（株式分割後）の発行済株式総数（9,600,000株）を元に算出した還元値です。

2011年9月1日付けで1：400の株式分割を実施しております

		08/08月期	09/08月期	10/08月期	11/08月期	12/08月期 (予想)
配当金 (円)	第2四半期末	-	1,900	2,900	5,000	17.50
	期末	3,600	1,900	5,800	5,000	17.50
	合計	3,600	3,800	8,700	10,000	35.00
1株当たり当期純利益 (円)		17,578	22,909	46,887	119,896.45	210.42
配当性向 (%)		20.5	16.6	18.6	8.3	16.6



Ⅱ - 13 株主優待

株式会社コシダカが運営する「カラオケ本舗まねきねこ」でご利用頂ける優待券に加え、今年度より「カーブス」プレミアム商品を新たに追加。

【株主優待の商品】

A、Bいずれかのコースをご選択いただきます。

A. まねきねこコース

☆全国のカラオケ本舗まねきねこでご利用頂ける優待券



ご保有株式数

1株以上5株未満の場合	1,000円券	20枚
5株以上の場合	1,000円券	40枚

B. カーブスコース

☆カーブスオリジナルデザインのプレミアムワークアウトウェア

ご保有株式数

1株以上の場合 一律1着（4サイズから選択できます）



【対象】

毎年8月31日現在の株主様



Ⅱ - 14 ご注意／お問い合わせについて

本資料は、2011年8月期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
また、本資料は2011年10月18日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。

IRについてのお問合せ
TEL：027-280-3371
Mail：info@koshidaka.co.jp

株式会社コシダカホールディングス



<http://www.koshidakaholdings.co.jp/index.html>

III. 參考資料



Ⅲ－１ 参考資料(企業集団の概要 | グループ概要)

社名 株式会社コシダカホールディングス
(KOSHIDAKA HOLDINGS Co.,LTD.)

事業内容 事業会社の支配・管理、および当社グループにおける事業開発等
設立 1967年3月
本社 群馬県前橋市大友町1丁目5-1
資本金 4億9,360万円
従業員数 グループ全体 2,662名 (2011年8月末)

グループ会社

- ・ **カラオケ事業**
 - ・ 株式会社コシダカ
- ・ **カーブス事業**
 - ・ 株式会社カーブスホールディングス
 - ・ 株式会社カーブスジャパン
 - ・ 株式会社北海道コシダカ
 - ・ 株式会社シュ克蘭
- ・ **海外事業**
 - ・ 株式会社韓国コシダカ
- ・ **ボウリング事業**
 - ・ 株式会社スポーツ
- ・ **不動産管理事業**
 - ・ 株式会社コシダカ
ファシリティーズ



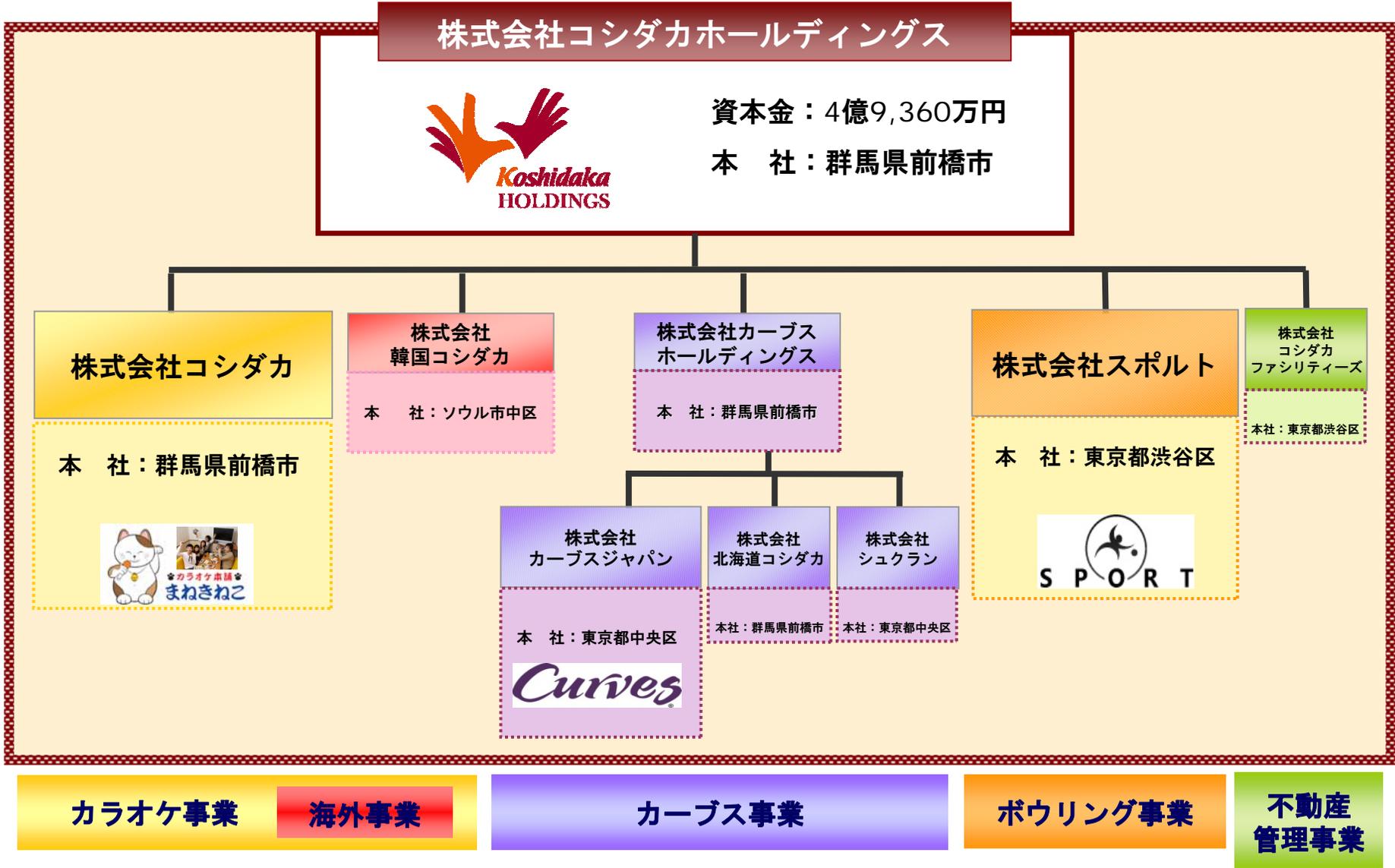
カラオケ本舗
まねきねこ

Curves



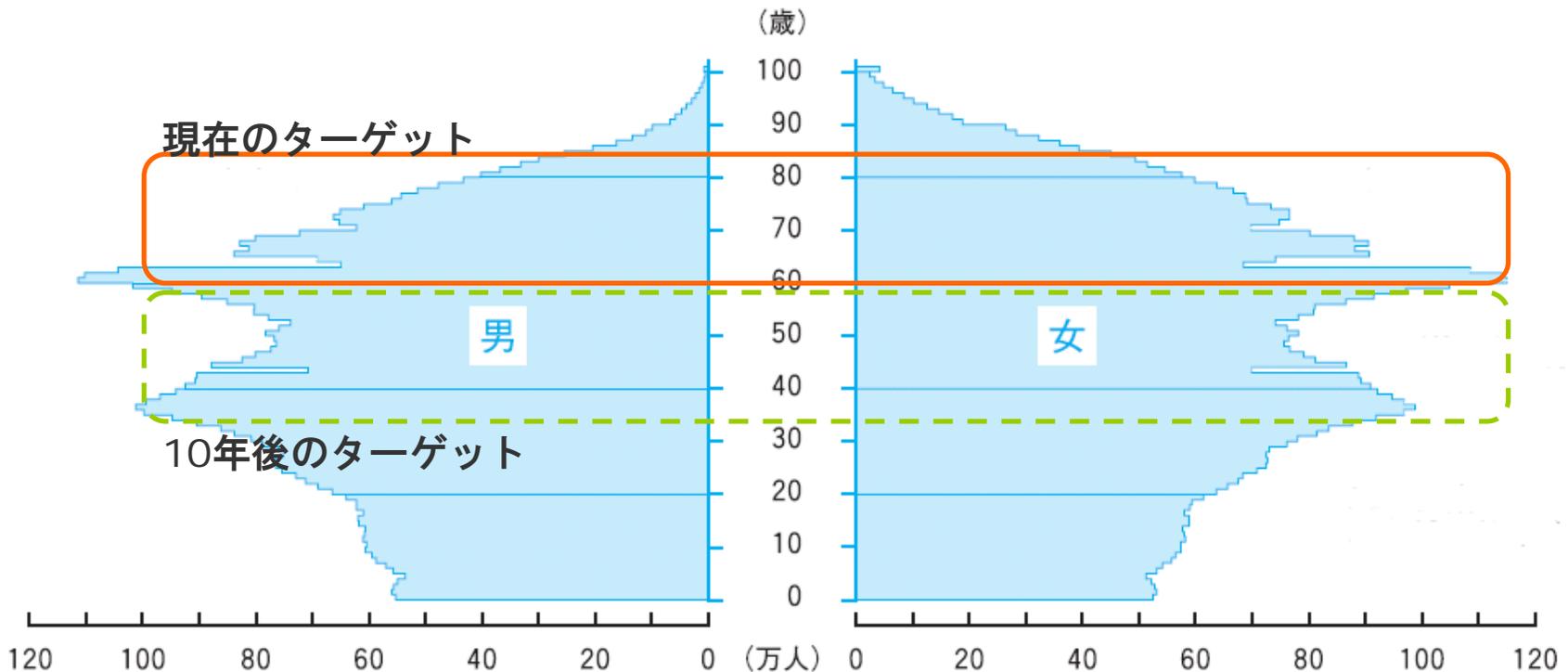


III-2 参考資料(企業集団の概要 | 組織図)



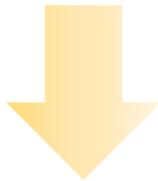
高齢化社会の中で、豊かな余暇生活の実現と
 希望に溢れた平和な世界の構築に貢献するため
「アクティブシニア層」に向けた安近短の身近な
 余暇の分野において【既存業種新業態】を追求する

高齢化進展の中、アクティブシニア層は増加し、さらに団塊Jr世代もターゲットに



出典：総務省統計局「我が国の人口ピラミッド(平成21年10月1日現在)」

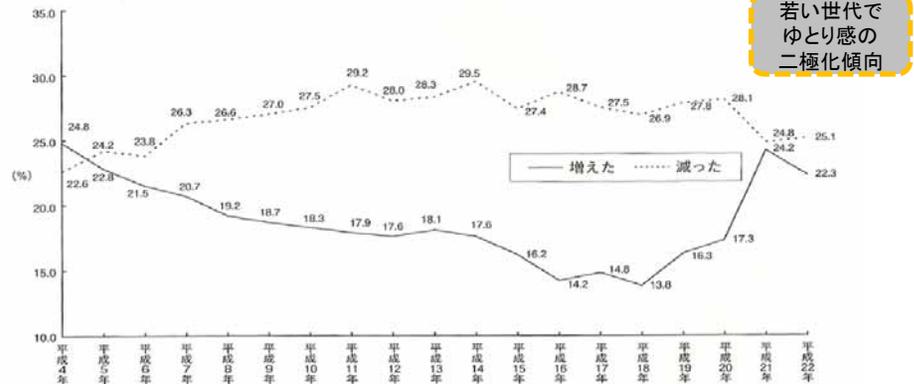
- 国民の時間的ゆとり感は拡大する一方で金銭的ゆとり感は縮小している。



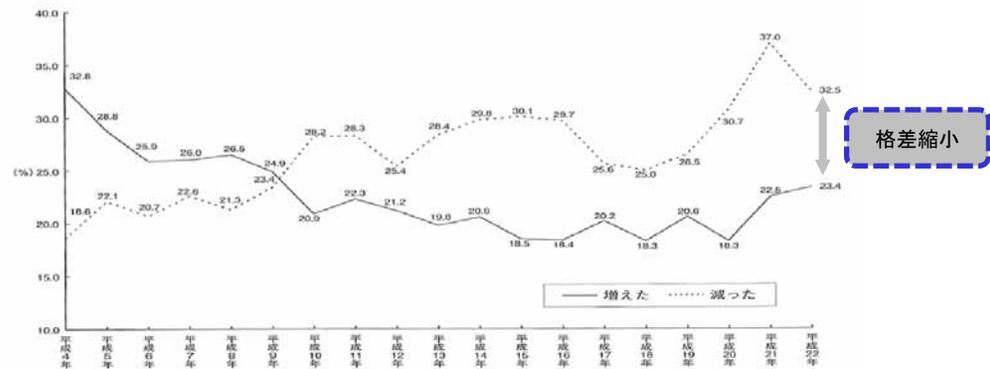
「安近短」
の余暇活動需要が拡大

余暇時間・余暇支出の推移

(A) 余暇時間



(B) 余暇支出



出典：レジャー白書2011

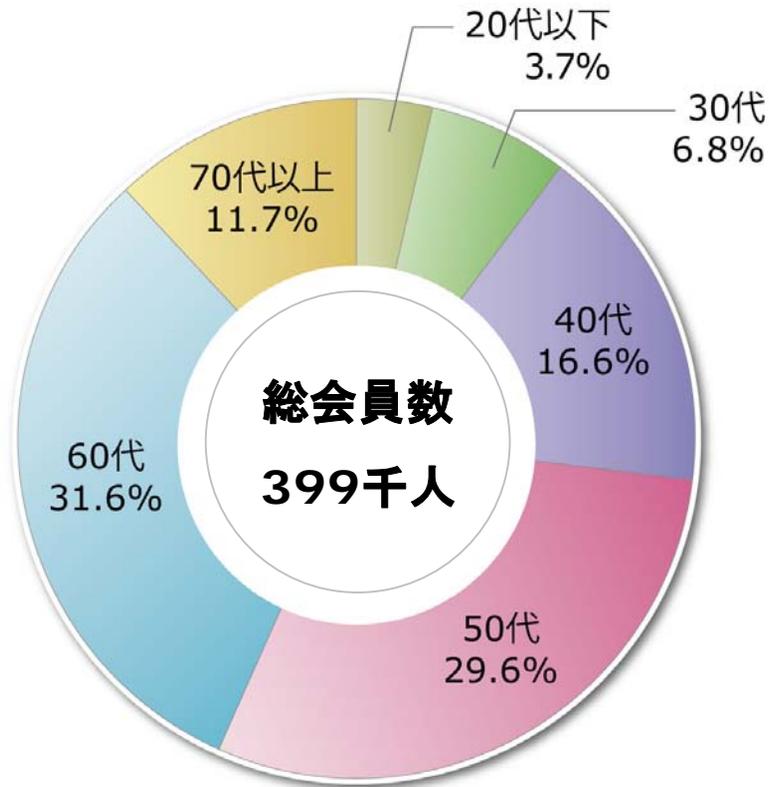
- さらに、人口減少・少子高齢化の進展に伴い、過去に経験した余暇活動種目へのニーズの掘り起こし、“リバイバル需要”を取り込むことが鍵となる。
- 経験したことのある活動の楽しみを知っている人々は、新規顧客に比べて需要掘り起こしのハードルが低い。
⇒「眠れる経験」へのアプローチは需要を喚起しやすい。



年間キャンペーン等 一覧

9月	グランドメニューリニューアル
10月	『B級グルメフェア第二弾』実施
11月	グランドメニューリニューアル 大規模リニューアル実施【17店舗】
12月	『いちごフェア』実施
2月	『元気だしていくわ(198)フェア』実施 大規模リニューアル実施【9店舗】
4月	『復興応援フェア第一弾』実施
5月	『韓国フェア』実施
6月	『復興応援フェア第二弾』実施 大規模リニューアル実施【13店舗】
7月	『B級グルメフェア第三弾』実施

会員様年代別構成円グラフ



※ %は小数点第2位で四捨五入

(2011年8月末)

会員様の**70%以上**が
50歳以上の女性で構成される

通信販売商品ラインアップ

ワークアウトライフに欠かせない商品を豊富に品揃え!



LTB (Learn To Bowl) とは

- ・ 地元の体育協会や行政とタイアップし、スポーツが主催したボウリング教室。
- ・ 社員の半数以上がプロ及びインストラクターの資格を持ち、団塊の世代・シニア層を中心に応募があり、全6週のカリキュラムを実施。
- ・ ボウリングのレベルアップというよりも健康維持の観点から週1回身体を動かすことが目的。



箕郷温泉 まねきの湯



露天風呂



宴会・飲食の充実



接客のノウハウ・飲食サービス等、
各業態で築き上げた経験を集約し、
「安近短」の健康創出空間を演出。

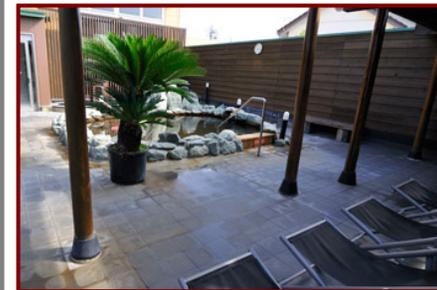
健康

コミュニティ シニア

幅広いニーズに応じて多店舗展開スタート！！

2011 September 月の G 月 イベント カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30		





III-9 参考資料(J-Stock Index銘柄に選定)

- ・JASDAQ 市場を代表する企業群と位置付けられている「J-Stock Index」の構成銘柄に平成23年10月3日付で選定。
- ・新聞紙上等での当社の株価掲載欄は、「サービス」欄から「J-Stock」欄へ。
- ・JASDAQ上場企業社数969社(平成23年9月28日時点)の内、71銘柄が構成銘柄として選定。



主なJ-Stock Index企業(2011年10月3日時点)

銘柄コード	企業名
2157	コシダカホールディングス
2702	日本マクドナルドホールディングス
2712	スターバックスコーヒージャパン
3272	エイブルCHINTAIホールディングス
4689	ヤフー
4755	楽天
4842	USEN
6750	エレコム
7419	ノジマ
8410	セブン銀行

